

9月 11-17日

エステル 3-5 章

85 番の歌と祈り 五味 統

開会の言葉（1分） 有田 悟

神の言葉の宝

「ベストを尽くせるよう仲間を助ける」（10分） 滝 秀貞

宝石を探し出す（10分） 竹林 直毅

エス 4:12-16 モルデカイはエステルの言葉を聞くと、13 こう返答した。「王の家にいる自分はほかのユダヤ人とは違って安全だろう、と考えてはなりません。14 もしこのような時に黙っているなら、ユダヤ人は別の仕方で助け出されますが、あなたもあなたの父の家族も命を失うことになります。それに、王妃となったのは、このような時のためなのかもしれません」。15 エステルはモルデカイに返答した。16 「行って、シュシャンにいるユダヤ人を全員集め、私のために断食してください。3日間、昼も夜も、食べることも飲むこともしないでください。私も、付き人の女性たちと共に断食をいたします。そして、法律に反しますが、王のもとへ参りましょう。命を失うとしても、その覚悟はできております」。

崇拜の自由のために闘う上で、エステルとモルデカイにどのように倣えるか。

（国 160 ページ 14 節 崇拜の自由のために闘う）昔のエステルとモルデカイのように、今日のエホバの民も、エホバの命じておられる仕方で崇拜をささげる自由のために闘います。（エス 4:13-16）この闘いにおいて、あなたにもできることがあります。いま法的な面で不公正を経験している霊的な兄弟姉妹のために、折あるごとに祈ることができます。そのような祈りは、苦難や迫害を忍ぶ兄弟姉妹にとって大きな力となります。（ヤコブ 5:16ですから、互いに罪を告白し、互いのために祈ってください。そうすれば癒やされます。正しい人の祈願には大きな力があります。を読む。）法廷における幾つもの勝利は、エホバがそうした祈りに基づいて行動して下さることを物語っています。—ヘブ 13:18, 19 私たちのために祈り続けてください。私たちは、鋭敏な良心を持っていると信じており、何事においても正直に行動したいと願っています。¹⁹ 特に祈っていただきたいのは、私が早く皆さんの所に戻れるようにということです。

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

（3:9）ハマンがクセルクセス 1 世と考えられるアハシュエロスに提供を申し出た銀 340 トンは、ギリシャとの戦いのために莫大な費用を必要としていたクセルクセスには魅力的な提案だったと考えられる。サタンは今日でも自分に従う者たちにお金や権力という動機付けを与えて神の民を迫害させようとするが、今日のハマンのような敵たちもまもなく居なくなることを楽しみにしたい

聖書朗読（4分）[エス 3:1-12](#)（[教励 第2課](#)）田中 克彦

野外奉仕に励む

再訪問の動画（5分）討議。「[再訪問: 王国（詩 37:11）](#)」の動画を再生する。映像が止まったところで動画を一時停止し、画面に表示される質問をする。有田 悟

神の王国が私たちのために何をするのか、お伝えしたい。詩編 37:11「しかし、温厚な人は地上に住み続け、豊かな平和をこの上なく喜ぶ」読む。平和な世界になる。皆の願い。平和な世界になるにはどんなものが無くなる必要があるか？（戦争とか犯罪）神の王国はそういうものを全て無くす。（もしそうなったら、確かに平和になる）「[Q. 神の王国がすることについて他の聖句からもどのように話せますか？⇒実際に何方が約束してくださっている？→詩 12:5](#)」短いビデオご覧に。（環境問題を解決して欲しい）「[Q. 宣教ツールボックスのどの出版物を使えますか？⇒キャンペーン中の塔 2020No.2P12～13](#) 神の王国は何をするかの美しい挿絵も紹介したい」

再訪問（3分）[話し合いのサンプルの話題](#)に沿って話す。聖書レッスンについて話し、聖書レッスン紹介用コンタクトカードを渡す。（[教励 第16課](#)）宮崎 倫子 16 高橋 節子

聖書研究（5分）[暮 レッスン 12 序文とポイント 1-3](#)（[教励 第15課](#)）福永 悦子 15 小島 奈帆美

クリスチャンとして生活する

65 番の歌

「エホバの友になろう エステルみたいになりたいな」（5分）討議。[動画](#)再生する。長谷川 瑛一
もしあれば選んでおいた子供たちに次の質問をする。[エステルの勇気にどのように倣えるか。](#)
[命を懸ける挑戦でなくても宣教や生活でエホバへの専心を試される](#)とき、[勇気をもって行動](#)するのは必ずしも簡単ではない。これから経験するであろうそうした[信仰上の挑戦](#)にいつでもエステルのような[勇気をもって対応](#)できるように、[今決意を固めておきたい](#)。

会衆の必要（10分）⇒ 地区大会の復習（15分） 浮田 蒼

会衆の聖書研究（30分）[暮 レッスン 57](#) 星 延宏 朗読：阿部 直生

閉会の言葉（3分）有田 悟

[125 番の歌](#)と祈り 吉田 忍

[^（エス 3:1-5:14）](#) その後、アハシュエロス王はアガグ人ハメダタの子ハマンを昇進させ、どの高官よりも上の位に就けた。2 王の門にいた王の家来たちは皆、ハマンに身をかがめてひれ伏すのだった。王がそう命じていたからである。しかしモルデカイは、身をかがめようともひれ伏そうともしなかった。3 それで、王の門にいた王の家来たちはモルデカイに、「どうして王の命令に

ベストを尽くせるよう仲間を助ける

モルデカイは、**勇気を持ってエホバへの愛を表す点で手本**を示した。（[エス 3:2-4](#)。[洞-2 1003](#)）ハマンに身をかがめることを拒むその後、アハシュエロスはアガグ人ハマンを大臣にし、王の門にいる僕はすべて、昇進したばかりのハマンに平伏するようにと命じました。モルデカイはそれをあくまでも拒み、その理由として自分がユダヤ人であることを告げました。（[エス 3:1-4](#)）モルデカイがそうした理由に基づいて行動していたことから、問題は、献身したユダヤ人のモルデカイとエホバとの関係にかかわることであったことが分かります。ハマンの前に平伏するのは、高められた人物に対して地にひれ伏すだけのことでなく、それ以上の事柄が関係していることにモルデカイは気づいていました。高められた人物に対して地にひれ伏すことはイスラエル人も過去において行っており、それは単に、支配者としてそうした人物の上位の立場を認める行為に過ぎませんでした。（[サムニ 14:4; 18:28; 王一 1:16](#)）ハマンの場合、モルデカイが身をかがめなかったことには十分の理由がありました。ハマンはアマレク人であったと思われます。そしてエホバは、「代々にわたって」アマレク人と交戦状態にあることを表明しておられました。（[出 17:16](#)。「ハマン」を参照。）モルデカイにとって、ことは神への忠誠の問題であって、政治上の問題ではありませんでした）

モルデカイは、**エステルがベストを尽くせるよう助**けた。（[エス 4:7, 8](#)。[洞-2 1004 ページ 2 節](#)）イスラエル人を救い出すのに用いられる帝国内のユダヤ人を全員滅ぼせとの勅令に面して、モルデカイは、まさにこのような時にエステルが王妃としての威光を得たのはユダヤ人を救出するためだという信仰を表明しました。そしてエステルに重大な責任があることを教え、王の恵みと助けを請うようエステルに指示しました。そうするなら自分自身の命を危険にさらすことになりますが、エステルはそれをやり遂げることを承諾しました。—[エス 4:7-5:2](#)）

モルデカイは、**勇気を持ってエホバを信頼**するよう**エステルを励**ました。（[エス 4:12-14](#)。[做 132-133 ページ 22-23 節](#)）22 エステルは、その伝言を聞いて心が沈んだに違いありません。信仰がかつてなく試されます。モルデカイへの返事の中で打ち明けているとおり、エステルは恐れています。モルデカイに王の法令を思い起こさせます。招かれていないのに王の前に出るなら死刑になるのです。そうならずには済むのは、王が金の笏を差し伸べる場合だけです。エステルはそのような寛大な扱いを期待できるでしょうか。王に呼ばれたのに来なかったワシテがどうなったかを考えてみてください。エステルは、モルデカイに伝えたとおり、30 日間、王から召されていません。そのようになおざりにされていれば、気まぐれな君主の寵愛を失ったのではないかと思ったとしても不思議ではありません。*—[エス 4:9-11](#)。

23 モルデカイは、エステルの信仰を強めるために、きっぱりと返答します。もしあなたが行動しないならユダヤ人の救いは別の所から生じるだろう、しかしいったん迫害が勢いを増したらあなたもそれを免れないだろう、と言います。こうしてモルデカイは、エホバはご自分の民が根絶されたりご自分の約束が果たされずに終わったりすることを決してお許しにならない、という心からの信仰を示します。（[ヨシュ 23:14](#)）そしてエステルに、「あなたが王妃としての威厳を得たのは、もしかすると、このような時のためなのかもしれません」と言います。（[エス 4:12-14](#)）做すべき立派な模範ではないでしょうか。自分の神エホバに全く依り頼んでいたのです。わたしたちもそうするでしょうか。—[箴 3:5, 6](#)）



考えてみよう「**私は言葉と手本**によって、**会衆の仲間がベストを尽くすよう助**けているだろうか

^（[エス 3:2-4](#)）王の門にいた王の家来たちは皆、ハマンに身をかがめてひれ伏すのだった。王がそう命じていたからである。しかしモルデカイは、身をかがめようともひれ伏そうともしなかった。3 それで、王の門にいた王の家来たちはモルデカイに、「どうして王の命令に従わないのか